

# 鴨川市地域公共交通会議 令和7年度第2回会議

## 会議録

日時：令和7年10月30日(木)午後1時30分から

場所：鴨川市役所 4階 大会議室

### 1 出席委員

役職等	所属・職	氏 名	備 考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	渡邊 剛太郎	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福浪 新一	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	花香 拓人	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	飯塚 貴之	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	伊藤 昌央	
	鴨川市校長会 会長	石井 聖一郎	
	東日本旅客鐵道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	
	利用者代表	三橋 悦子	

### 【欠席委員】

役職等	所属・職	氏 名	備 考
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	利用者代表	篠田 千津子	

### 2 オブザーバー

所属・職	氏 名	備 考
千葉トヨタ自動車株式会社 経営企画部 モビリティサービス課 課長	平野 照明	

### 3 事務局

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市企画総務部 部長	野村 敏弘	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係 係長	高梨 泰里	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

#### [配布資料]

- ・ 席次表、出席者名簿、委員名簿
- ・ 資料 1 鴨川市公共交通の令和 6 年度実績について
- ・ 資料 2 鴨川市地域公共交通計画の評価等結果
- ・ 資料 3 チョイソコかもがわ「共通乗降場所の追加」について
- ・ 参考資料 1 鴨川市公共交通計画抜粋
- ・ 参考資料 2 公共交通乗り方教室について
- ・ 参考資料 3 計画目標値と各公共交通利用者数

#### ■議事要旨

#### 1 開会（午後 1 時30分） 司会 企画総務部企画政策課 田中課長補佐

- ・ 配布資料の確認
- ・ 会議の成立
- ・ 公開の報告

#### 2 会長あいさつ

（要旨）

本日はご出席をいただき感謝を申し上げます。本日の会議では、鴨川市の公共交通の令和 6 年度の運行実績の報告 1 件、本市の公共交通計画の令和 6 年度評価や、チョイソコかもがわの共通乗降場所の追加などの計 3 件をお願いしたい。皆様には、忌憚のないご意見をいただくようお願いします。

#### 3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、 渡邊 剛太郎 委員を指名

報告案件 1 鴨川市公共交通の令和 6 年度運行実績について  
（事務局から、資料 1 に即して説明）

- 伊藤委員：コミュニティバスの3つのルートを循環線とチョイソコかもがわに再編した結果、単純に比較すると利用者数が減少しているが、この利用者はどういうふうに移動されたのか。もし把握しているならば教えていただきたい。
- 事務局：全てを把握しているわけではないが、3ルート時代のコミュニティバスには学校の生徒も利用していた。今は循環線とは別にスクールバスが走っていて、利用人数についても大きな数字となっていたと思う。
- 三橋委員：コミュニティバスの利用が減少しているのは料金も関係している。亀田病院から安房鴨川駅まで路線バスで通常料金は190円。ノーカーサポート割引で100円。スーパーマーケットまでは160円。一方、コミュニティバスは300円。どこへ行くにも一律300円。いろいろな方に伺うと、コミュニティバスは高くて乗れないと言っている。路線バスの方が安いからそちらを使う。この料金に皆さん納得していない。なぜ300円にしたのか分からない。さらに再編の減便によって帰りのバスがうまく調整できない。
- その結果、利用者がコミュニティバスからだいぶ離れている様に思う。
- 事務局：料金に関しては、公共交通全体の料金と利用者のバランスを考えて協議させていただいた。受益者負担もいただきながら運行を維持している部分もあるのでご理解をいただきたい。
- 平川会長：三橋委員からは、コースを変えただけではなく、料金設定や循環線自体の使いづらさにより利用者数に影響しているだろうということ意見をいただいた。この部分について、また、利用者のご意見を聞きながら、少しずつでも検討していければと思う。

#### 協議案件1 鴨川市地域公共交通計画の令和6年度評価について (事務局から、資料2に即して説明)

- 福浪委員：公共交通に対する満足度で、満足度を測るものは次期計画時のアンケートによるもので現時点で評価は出ていないのは理解するが、この項目の中の事業マップの作成とICT導入に向けた検討の項目について、現在どのような状況か。
- 事務局：マップについて、令和6年度中はチョイソコかもがわが実証運行中だったため見送っていたが、現在は作成しており、市ホームページにも掲載している。ICT導入については、現在、検討中である。

資料のとおり承認

#### 協議案件2 チョイソコかもがわ共通乗降場所の追加について (事務局から、資料3に即して説明。また、協議が整った場合には証明書を発行する旨を説明。)

- 伊藤委員：議題の共通乗降場所の追加については特段異論はない。今年度も半年が経過しており、昨年と比較して、乗降人数の増減の傾向を分かる範囲で教えていただければと思う。
- 事務局：令和7年度は各地域とも週3日運行から週4日運行となった。この半年間の合計利用者数は昨年の同時期と比べて116.8%となっている。

資料のとおり承認し協議が整っていることの証明書を発行

#### 4 その他

石井委員：既に、駅のポスターや、鴨川市の広報やLINEで公表・周知をしているが、内房線の館山から安房鴨川駅間で、11月11日から13日まで、10時30分頃から14時40分頃までの間で集中工事を実施する。列車をすべて運休し、工事を行うが、代行バスを上りが2本と下りが2本という形で運行する。地域の皆様には、大変ご不便をかけるが、何卒ご理解を賜ればと思う。

また、10月27日に公表している当社の「ご利用の少ない路線の経営情報」について、安房鴨川駅は、外房線では勝浦～安房鴨川、内房線では館山～安房鴨川、この区間が非常にお客様の利用が少ないということで開示している。本当に赤字のすごいところは、100円を稼ぐのに1万円以上経費がかかっている。公表されている資料の中の「営業係数」をみると内房線の館山～鴨川間は、100円を稼ぐのに1,541円かかっている。外房線の勝浦～安房鴨川間は、約1,045円。去年は、内房線は1,289円、外房線は883円。

先ほども運賃が高いと話もあったが、公共交通でそれなりのものを動かしていくと様々な経費もかかる。本来、終電から初電までの間の夜間に工事をするが、最近の労働力不足と物価高騰、さまざまな経費の高騰、そういったものを加味して、今言った100円稼ぐのに1,500円くらいかかっているものを抑えていきたいということから、昼間の時間帯で工事をさせていただくという形になった。路線が少ないからではなく、路線を1日でも長く継続させるためにどうしたらいいかという策の中で、日中帯に工事をさせていただく。多くの皆さまに大変ご迷惑をかけるが、定期的にこういった形で鉄道を維持していくために工事をする必要があると思っていますのでご理解とご協力をいただきたい。

三橋委員：日東交通にお願いしたいことがある。昨年3月に随分バスは減便され、回数券もなくなった。小湊方面から買い物に来ている高齢の方が大変な思いをされている。私は亀田病院のそばに住んでおり、バスの便も良く、ノーカーサポートを使って、通常190円のところを100円で買い物に来ている。値段も安いので週2回から3回ぐらいバスを利用している。一方で、もともと免許を持っていない高齢の方はノーカーサポート割引はない。高額なバス代を払って、週1回程度、大変な思いをして連絡橋を渡り、両手に荷物とリュックを背負ってバスに乗っている。バスは1人乗っても10人乗っても同じガソリンを使って走っているのに、高齢の方にノーカーサポートのようなバス代半額などの特例や特典を作れないのか。

私は免許を返納して2年過ぎた。千葉銀行の前に日東交通の営業所があり、冷暖房もベンチも置いてあるので、皆さんバスを待っていてとても助かっている。私は亀田病院のそばに住んでいて、例えば11時5分に乗れ、亀田止まりのバスがある。小湊の方の方は11時20分を逃すと13時までない。私はその間にまだあと2便くらい乗れ、さらにノーカーサポートで半額で帰ってきている。その事ですごく心が痛む。知り合いになった方や高齢の方に、「お先にごめんなさい」と伝え、先にバスに乗るが、なんとかならないかなと思っている。東京行き的高速バスは行きも帰りも満席に近い。その分、ちょっと無理を言って、路線バスのノーカーサポートのような高齢者特典を作っていただけないか。

高橋委員：現状として、ノーカーサポート制度は、当社で平成23年7月1日に導入をした。警察で高齢者の方が運転免許証を返納されると、移動が困難になるということから、バス事業者独自の施策として、運転免許証を返納された方のみ対象になっている。高齢者の方の移動で運賃が高額でバスを利用するのが厳しいというご意見があがったが、当社の一般路線バスのほとんどの路線が赤

字の路線で、国や県、市町村から補助金をいただきながら何とか運行を維持している路線になっている。高齢者の方のみ対象とした割引制度に関しては、バス事業者としてはなかなか制度として導入しづらいというところが現実問題である。東京都や都道府県をまたいで実施されているところもあると思うが、各都道府県で実施しているような大きい繰りで実施されるものがあれば、バス事業者の助けになると思っている。また、本来、バス運賃は国土交通省の方に認可申請をしている。本来は割引をしない運賃をいただかないとバス事業者としては成り立たないというところがある。持ち帰って精査はするが難しいところがあるかと思う。

三橋委員：ノーカーサポート制度は免許を返納したら貰えるが、免許をたまたま持っていない人もいる。そういった傾向だと、免許返納者は少なくなる。私はたまたま亀田病院のそばに住んでいてとてもバスの便がいい。免許を返納する前に1ヶ月くらい試して、これなら大丈夫だと思った。75歳まで免許期間があったが、72歳で事故を起こすよりもいいと思い返納した。今も不自由なく、最初はバスで片道行って帰り荷物が多いときは帰りをタクシーにしていたが、運賃が100円で安く、週2回、3回と散歩がてら行くことで荷物も少なくとても便利にしている。運賃が高い方は週に1回ぐらいしか出てこれなく大荷物になる。亀田病院周辺はチョイソコも利用できない。皆さんはどう思ったか。

平川会長：ノーカーサポートは、免許返納促進で日東交通がサービスでやられている。これ自体の制度は、国、県、市から補助が入っているわけではなく、経費は事業者が負担をしながらやっているもので、制度変更はなかなか厳しいところがあると思う。今回の交通手段としてどうするかということに併せて実際に生活環境の部分もあるように思う。小湊エリアで、今、買い物ができる場所が非常に少ないことも、鴨川地区まで出ざるを得ないという環境があると思っている。社会福祉協会にもご協力いただき、出張販売も拡充をしているところ。我々の責任でもあるが、生活する中で必要なことが地域でできるような環境づくりと交通手段と2つ合わせて考えていかなければいけないと思っている。ご不便をかけているのは承知をしているところで、少しでもよくできるようにしたいと思っている。

三橋委員：委員になったのもそういう方々を見て何とかならないかということと、こういう不自由な思いや大変な思いをしている方がいるということをご存知なのかと思っていたため。出張販売もいろいろな場所で行っているが、自分でバスに乗ってお店に来て自分で見て買うということが運動にもなるし、気分転換になる。自分が週2回、3回バスに乗ってお店に行くことで、とても健康的にいい結果を得ている。バス代がもし安くなれば、1回だったのが週2回外出することになって他の方もそういうことになればいいと思った。委員になって何とか改善してもらったり、そういう不自由な思いをしている方のお力になればと思っていたので残念である。

平川会長：この会議も公共交通の考え方自体が少しでも市民の方の利便性を確保しているようにしており、その思いは皆さん一緒。今日いただいた意見も参考にしながら、今後も検討したいと思っているので引き続きよろしくお願いします。

事務局：最後に公共交通乗り方教室の進捗状況をお伝えする。電車の乗り方教室を令和8年1月23日に西条小学校の生徒、2月3日に天津小湊小学校と鴨川小学校の生徒を対象に実施する予定。また、バス・タクシーの乗り方教室は東条小学校で実施を予定している。事業者の皆様については、引き続きご協力お願いしたい。実施の際の内容については、こちらの会議で報告させていただく。

5 閉会（午後 2 時34分）

以上

---

令和 7 年11月11日

会議録署名人 渡邊剛太郎